

フレデリック・ポール
『ゲイトウェイ2』
のあらすじメモ



目次

フレデリック・ポール『ゲイトウェイ 2』のメモ	1
-----------------------------------	---

フレデリック・ポール『ゲイトウェイ 2』のメモ

・ゲイトウェイ 2 青き事象の水平線の彼方

フレデリック・ポール。

1980 年発行。

矢野徹・訳。

1988 年発行。

フレデリック・ポールは SF を舞台に大人向け大衆雑誌に載せるような奇想天外なストーリーを描いている。

現実世界では、選ばれた人間が訓練を経て宇宙飛行士となって宇宙船に乗るが、地球上であろうと宇宙船の中であろうと、人間の癖や精神的な弱さが引き起こすドラマの傾向はいつでもどこでも同じ。

しかしこの観点はこれから宇宙での滞在時間が伸びるに従って人間の精神面により留意すべきことになるだろう。

砕けた人物たちとリアリティ (先端物理理論、ビジネス、政治、医療、法律) と意外性が物語が紡がれていて読み込んで分かって来るほどフレデリック・ポールの奥深さを感じる。

ハインライン + JP ホーガン + ニーブンといった感じ。

最後の方に明かされる謎の異星人ヒーローの活動とそのスケールは大き過ぎる。

これからロビンたち人類がどうして行くのか？

グレッグ・イーガンの多次元宇宙とブラックホールへの出入りは同じものなのか全く別物なのか？

<目次>

ウワン
オールド雲への途中
恋するウワン
ロビン・ブロードヘッド有限会社
ジャニー
熱病のあと
ヒーチャー・ヘブン
シュバルツ・ペイター
ブラジリア
最古人
S. ヤ・ラヴォロヴァ
600 億ギガビット
中間点
夢の長い夜
最古人よりも年寄りの
現在生きている最大の金持ち
ヒーチャー人が行ったところ
解説/安田均

<登場人物>

ウワン:15 歳の少年。古代人たちがいる黄金の道を目指す。母はスペイン人、父は英語圏。

古代人たち:オールドワズ。ヒーチャーのこと。

死者たち:デッド・メン。地球人の調査員。

死者 57 番:不安定な女。調査員ヘンリエッタ・ミーチャム。天体物理学者。38 歳。いっしょに調査に来ていた 2 歳下の夫のアーノルド・ミッチャムはドリス・フィルグレンと不倫をしたと嘆く。

死者 14 番:教授。ハーバード大の学生だったエリオットの話をする。

タイニー・ジム:3 桁の番号を持つ死者。卑猥な話をする。

エンリコ・カルーソー:死者のひとり。ナポリのテナー歌手。

ポール C ホール:41 歳。家族 4 人で 3 年以上かけてオールド雲へ向かっている。構造工学技師。

ベラ:ポールの乗る宇宙船のコンピューター。人工頭脳。

ペイター・ハーター:ポールの義父。ラービイとジャニーンの実父。ドイツ人。食品化学者。

ラービイ:ポールの妻。35 歳下。本名ドレマ・ハーター・ホール。元ゲイトウェイ 2・パイロット。ゲイトウェイ 2 に 6 年いた。酒好き。家庭的でない。

ジャニーン・ハーター:14 歳。ラービイの異母妹。ときどき 40 歳でラービイに対抗心を燃やす。

トリッシュ・ボウバー:パトリシア。ヒーチーの食料工場に到達するが行方不明になった女性。

ハンソン・ボウバー:その夫。アレン。ロビンの経営する会社から妻トリッシュに賭けておいた生命保険料を受け取ろうとする。ブラジルの貧民街に住む。

ロビネット・ブロードヘッド:ロビン。『ゲイトウェイ』の主人公。ボブ。45 歳。調査員(プロスペクター)。16 年 2 ヶ月前にゲイトウェイに居た。ワイオミングの食料鉱山で元発破掘削係。26 歳で女性問題を起こし精神収容所にいた。父は縦坑の火災で死亡、母は肺病で死亡。宝くじに当たって金星行きの切符を買い調査員になった。

S ヤ・ラヴォロヴァ・ブロードヘッド。エシー:ロビンの妻。ロビンより 20 歳若い。マックス・プランク人工知能研究所の特別研究員であり、ニューヨーク大学の AI 学部で大学院生を教えている。

ハリエット:エシーがプログラムした人工知能。秘書プログラム。

アルバート・アインシュタイン:人工知能プログラム。科学プログラム。

モートン:人工知能プログラム。法律プログラム。

ジークフリート・フォン・シュリンク:精神医学プログラム。

ティム・プラグラー:上院議員。

ウィルマ・リーダーマン:医師。エシーの主治医。

ヘクター:ラービイがかつてヒーチーの調査で同じ宇宙船に乗った男。報奨金目当てで起こった仲間の乗組員との戦いで生き残りラービイに結婚を迫った。

ヘル・ドクトル・アドフォカット・ヴィルヘルム Jハーゲンブッシュ:ピート・ハーターの弁護士。ピートのハーター・ホール・シンジケートの取引 (お金の要求=恐喝) をロビンに持って来た。

最古人:生体脳に機械の身体を持った大きなサイボーグのようだが。。

トル:最古人の命令を受けてジャンーンを世話するオールド・ワンズ。

タル:最古人の命令を受けてジャンーンを世話するオールド・ワンズ。

フーアイ:最古人の命令を受けてジャンーンを世話するオールド・ワンズ。

ヒーチー人:ゲイトウェイ 2 小惑星に数百隻の宇宙船を遺して死んだ高度な文明を持つ異星人。

<あらすじ>

・前作「ゲイトウェイ」より

『人類の人口は 250 億人。』

火星にも、金星の地下にも植民地が存在する時代だが深刻な食糧不足の問題を抱えていた。

金星のそばに異星人ヒーチーの残したアミガサダケ状の船 924 隻とゲイトウェイ (彗星の核のようで直径 10km ほどの小惑星。内部中心は紡錘形で遠心力で低い重力があり、酸素分圧は地球の高度 2000 メートルくらい) が発見された。

ヒーチーの船はアミガサダケ状で 50 万年前に造られたものだった。

乗船してみると自動航路設定がされていて、他の恒星系の惑星に行ってそこにあった遺跡の残骸を持って帰還できた。

それからゲイトウェイはゲイトウェイ会社によって経営され、多くの調査員がヒーチーの遺物を手に入れようと宇宙へ探検に出て、消えたヒーチー人の星へ向けてスター・ラッシュが始まった。

』

2077年に人類が金星でヒーチー人類の遺物や大船団が残されたヒーチーの基地ゲイトウェイを発見して10年以上が経過していた。

前作『ゲイトウェイ』で調査員ロビン・ブロードヘッドはヒーチー船に乗ったクララたちがブラックホールに囚われて脱け出せなくなったところを目撃しながら自身は脱出して地球に帰還する。

それが今でも悩みになっていて、現在は人工知能プログラマー？ エシーと結婚してはいるものの、時間が停滞して今も生きているクララをなんとか救出したいと考えている。現在はゲイトウェイ調査員としてきずいた莫大な財産をもとにゲイトウェイ調査を目的とする有限会社を創設し、ハーター&ホールの一家4名を発見されたヒーチーの食料工場に向けて送り出していた。

謎の少年ウワン(15歳)はヒーチーの食料工場と前哨基地(ヒーチーヘブン)にひとりで暮らしていて、知識はデッドメン(死者)から得ていてオールド・ワンズ(古代人)にも遭遇していた。

そこに地球のロビン・ブロードヘッド有限会社に雇われたハーター&ホール隊の宇宙船が到着し食料工場でウワンを発見する。

ウワンにとって人間を見るのは初めてだった。

ハーター&ホール隊は会社との契約通りに食料工場を地球に運ぼうとするが食料工場は彗星から彗星へと資源を求めて自動航行していてどうしても動かせない。

そこで一行はウワンから食料工場について知っている情報を得ようとする。

一方、地球のロビンは食料工場に向かって消息を絶った女性トリッシュ・ボウバーの夫から報酬を求めて裁判沙汰になっていた。

ロビンの若妻エシーはタッパン海からツーソンに向かうが、その後人類は130日熱という発作に襲われる。

ロビンの人工頭脳のひとつボブ(アルバート・アインシュタイン)はハーター&ホール隊から送られて来た情報から、ウワンが食料工場の『夢見る部屋』と呼ばれる繭の中で眠

ると人類に一過性の熱病が発生することに気がつく。

そしてウワンの言うデッドメンというものが、かつては生きていた人間でその記憶を化学的に処理されて保存されているのではないかと予測する。

エシーがツーソンで交通事故に遭い重傷を負ってしまう。

ロビンはアリゾナのメサ総合病院に駆け付け高額な完全医療保障で彼女を治療しようとする。

エシーとロビンは食料工場にいるハーター&ホール隊から送られて来た謎の生物オールドワنزのモニタージュ写真を見てヒーチャー人たちとの接触を危惧し始める。

もし遭遇したら人類は簡単に滅ぼされてしまうだろう。。。

ハーター&ホール隊のポール、ラービイ、ジャニーンとウワンは老ペイターを食料工場に残してウワンの住んでいる基地ヒーチャー・ヘブンへ、ウワンの船で向かう。

ヒーチャー・ヘブンは長さ 1km ほどのレモン型の小惑星だった。

中には赤、青、緑、金色の地域があり一行はウワンの案内でウワンの部屋に辿り着き、デッドメンのタイニー・ジムの声を聴く。

一行の仕掛けたカメラは古代人オールドワنزによって破壊された。

一行は一週間ほどここに残って探検することにする。

そしてウワンの案内で金の区域に行って、祈祷用扇と呼ばれている物をたくさん発見するが、ウワンがそれをチューリップ状の読取装置に入れるとヒーチャーの本だということが分かった。

一行は服を脱いで袋状にし祈祷用扇をたくさん詰めて持ち帰ろうとするが、ポールを除いてオールドワنزたちに捕まってしまった！

エシーは完全医療保障で移植手術を受けて持ち直すが、尿毒症を起こしてふたたび危ない状態に入る。

主治医のウィルマは新たな腎臓移植をする必要があるがそれをするとより重篤な状態に陥るかもしれないとロビンに説明する。

ロビンは妻を亡くして会社に訴訟請求を起こしているハンソン・ボウバーをブラジル貧民街を訪ねて和解に応じるように説得する。

ロビンはエシーのもとへと急ぐ。

オールドワنزに捕まったウワン、ジャニーン、ラービイは最古人のところへ連行される。最古人は永久に生きられるように脳を機械の身体に移植されたサイボーグ？ だった。

彼はウワンが産まれることを許した人物でもあり、ウワンと女性を掛け合わせて繁殖させることにした。

しかし侵入者を警戒し彼はヒーチャーヘブンの進路を変更する。

食料工場に残されたペイターは地球に対する要求を飲ませようと寝部屋に入って 130 日熱を放出し脅迫する。

ロビン・ブロードヘッドは重篤の妻エシーのもとに向かうのを邪魔されながらも辿り着く。

エシーは医師エルマの警告を無視してコルチコステロイド (のちに白血病の危険を伴う) を投与して元気になった。

ふたりは人工頭脳アルバートやジークフリートといっしょにヒーチャーの食料工場の寝部屋を使って脅迫する老ペイターを止める方法やボウバーの妻やハーター・ホール隊の救援、ヒーチャーヘブンを操縦する方法について検討する。

アルバートは祈祷用扇 (本) を読解するロゼッタストーンを見つけたがそれ以上の解析が進まない。

ロビンはデッドメンたちはヒーチャーの人工知能に接触していて彼らなら祈祷用扇の読み方を知っているかもしれないと考える。

そしてデッドメンのひとりヘンリエッタから聞き出す作戦を考えジークフリートに彼女の良人を装って話を聞き出すプログラムを用意させる。

モートンはロビンが急速に財産を食い潰していることを警告する。

ハーター・ホール隊のコンピューター『ベラ』に超高速無線で通信しヘンリエッタに接触するには『ベラ』の処理速度は遅過ぎた。

そこでロビンは大型の高速コンピューター PMAL2 フリップ・プロセッサを伴って自身でヒーチャーヘブンに行くことにする。

カイエン→ギアナ宇宙センター→フラ・マウロ付近の月往復基地→ヒーチャーの月世界スピンドル (基地)。

月のヒーチャー船基地に行きゲイトウェイ 2 公社にかけあって 5 人乗りヒーチャー船に乗ろうとするが、ブラグラ上院議員に止められてしまう。

ボウバーはロビンから大金を受け取ってロビンの会社に対する差し止め命令を取り止める。

そして月で観光を楽しむことにする。

しかしそこに老ペーターがまた寝部屋から 130 日熱を発して、ロビンは混乱の中ヒーチャー船で食料工場に出発することができた。

病んで理性を失った老ペーター最期の送信だった。

ジャニーンは 3 人のオールド・ワンズに世話されながら、青い繭 (長い夜) の中で毎日別の誰かとして人生を全うする夢を見させられる。

一方でウワンとラービイは繁殖活動をさせられていた。

ジャニーンは最後の夢を見せられる。

それはアウストラロピテクス原人のメス『やぶにらみ』の記憶だった。

ヒーチャーに古代の地球で捕獲され 15 年の生涯で 12 人の子供を産み、脳だけ貯蔵記憶として保管されたのだった。

ジャニーンはラービイは避妊しているので妊娠しないとオールド・ワンズに話し、ウワンと会って交合する。

ラービイは麻酔銃で看守たちを倒して逃げ出し、つづいてジャニーンとウワンも逃げ出した。

命からがらヒーチャーヘブンに到着したロビンはポールと合流。

家族の救援を優先したいポールとヒーチャーヘブンの操縦方法を優先するロビンはぶつかり合いながら共闘する。

そしてオールドワンズたちをあらかじめ倒したロビンは PMAL2 で夫トマシーノ (アーノルド?) に偽装したプログラムでヘンリエッタに接触しヒーチャーヘブンの操縦方法を聞き出すことに成功する。

ロビンはポールに向かって言う「ではきみの小さな問題を解決しよう。」

最古人はふたたび目を覚まし 50 万年かけて育てた、彼の子供達オールドワンズが倒されているのに気付く反撃を試みるが、ロビンとポールはヒーチャーの穴掘り機械で最古人を倒してしまう。

そしてヒーチャーヘブンの操縦に成功する。

アルバートはロビンにヒーチャーの科学技術についての推測を講釈する。

「光速を超えるヒーチャーの推進、超光速無線、デッドメンの情報処理回路。

ブラックホール。

1. あれまあ数 (ゴッシュナンバー) は偶然のものか？
2. マッハの原理。質量とは何か？ 質量そのものはなんらかの外部の体系 (宇宙の全背景) で決定される。
物質、エネルギー、空間、あれまあ数...を含むすべての本来備わっている性質が外部の体系で決定される。
3. ポイント X。ビッグバンの3秒後に起きたなんらかの激動。あれまあ数 (定数) がその宇宙に生命が存在できるかどうかを決めうる。ヘンリエッタが推測した。
4. 失われた質量 (ミッシング・マス)。ヒーチャー人は質量を作り出し破壊することもできた。ヘンリエッタの推測。

アルバートはポイント X で起きた事象によっては、その宇宙は生命にとってもっと住みやすくなっていたかもしれない、不死とか、より速い脳のシナプシスをもつ高度な知的生命体とか。あるいは生命進化にとって、より適した多くの惑星とか。

ヒーチャー人は宇宙を創生するほどの知性と科学技術を持っていたかもしれない。

彼らは外の銀河宇宙から質量を移して急速に後退 (進化) するようにさせて、自分たちは時間が停滞するブラックホールにでも隠れて、壮大なプロセスが進行するのを待って出て来る。

ヒーチャー人は自分たちの創った宇宙の進化の具合を調査し、ほかの仲間を連れに戻っているのかもしれない。

収縮とビッグバンに生き残るために、考えられる方法がひとつある。

時間が効果的に止まるブラックホールだ。

量子障壁抜け (クオンタム・トネリング) によって質量を失わず無限に生き残れるほど大きなもの。それは質量が太陽の 15,000 倍。位置はわれわれの銀河系宇宙の中央だ。

ヒーチャーヘブンの最古人はまさにそのブラックホールを目指していたと思われる。」

ロビンは月に持って帰り巨万の富を築く。

デッドメンが使った医療機械で何が出来るか、調べるためにウィルマを社長とする研究開発会社を立ち上げた。

しかしロビンはヒーチャー人が自分たちの所業に気付いて襲って来ることを心配し始めていた。

人類はオールドワンズ (アウストラロピテクスたち) を地球に連れて行った。

エシーはデッドメンたち貯蔵記憶を分析して、ヒーチャーたちのプログラミングは「直接的な頭脳の化学的読取に基礎を置いている」と考える。

エシーはロビンが死んだらその頭脳を機械に組み込んで、ブラックホールに捕まっているクララ (ロビンの元カノ) の元へやって話をさせる事もできる、と言いロビンを驚かせる。

ロビンたちの知らない、はるか遠く 4 万光年以上彼方の宇宙では、キャプテン (船長) と呼ばれたヒーラー人がいた。

宇宙のあちこちで彼ら自身の宇宙を創造した知的生命体。

彼らは多くの恒星を調べ上げ、他の宇宙へ出られるような文明の育ちそうな恒星を集めて、その惑星に産まれた生命体を捕獲しては進化の度合いを観察していたのだった。

太古の地球からアウストラロピテクス (オールドワウンズ) を連れて来てヒーラーヘブンで最古人に育てさせていたのも彼らだった。

ヒーラーの宇宙創成、知的生命体づくりの実験はまだ続いていた。

<メモ>

・ヒーラーの宇宙船：光子推進宇宙船

・地球→金星→宇宙船→→→→オールト雲→→ヒーラー食料工場。

(地球～ヒーラー食料工場の間:3 年半、前哨基地本部～ヒーラー食料工場の間:45 日)

・金星探検隊:最初にヒーラーの遺物や数百隻のヒーラー船を発見した。

・祈祷用扇:ヒーラーの遺した金属の巻き物。

・火の真珠:ヒーラーの遺物。

・ヒーラー船:光速より早い恒星船。

・ゲイトウェイ公社:ゲイトウェイに冒険者たちを送りヒーラー船に乗せて未知の文明の財宝や資源を集めるビジネスを運営する。

・ゲイトウェイ:ヒーラーの宇宙船が多数発見された小惑星。ヒーラー船は 924 隻。

・ゲイトウェイ 2 :他の恒星系で発見された別のゲイトウェイ。ヒーラー船は 150 隻あった。400 光年先のプレアデス星団のアルシオーネ付近と言われている。

- ・ ホログラム・タンク:人工知能ホログラムを映し出すためのタンク。
- ・ ヒーラー食料工場:人類の食料問題解消のために手に入れたい工場。資源 (CHON 元素) を求めて彗星から彗星へと自動で航行する。
- ・ ヒーラーヘブン:レモン型の小惑星。ヒーラー人たちが造ったと思われる居住可能な基地。オールドワーズとデッドメンとウワンが住む。
- ・ オッカムの剃刀
- ・ 超高速無線:ヒーラーが残した無線。
- ・ 130日熱:誰にでも突然訪れてのたうち回る熱病。じつはヒーラー食料工場の『夢見る部屋』(繭)の中で誰かが寝るとそこから発せられる電磁気で引き起こされる。
- ・ 可動生物検定ユニット
- ・ ヘンリー・ジェイムズ:小説家。「あるものの全体が語られることは、決してない」
- ・ マイヤーとストックマイヤー「コンピューターの力をもってしても宇宙の生命には解くことができない問題が存在する」ことを証明。
- ・ 完全回復保障 (フル・メディカル)
- ・ キーウェスト、グランド・ケイマン、ケイジャン・コーヒー
- ・ あれまあ数:ゴッシュ・ナンバー。
- ・ カリカチュア:戯画。

・スピンドル (紡錘形):機械類の主軸。ヒーチーの月面基地の主軸。

・マッハの理論 (原理):実験室規模で知られた物理法則は、宇宙の大局的構造に対応するという原理。

・カルノーの法則:苦痛は絶対値によって測られるのではなく原因と環境のあいだの差によって測られる。

シュヴァルツシルト障壁:ブラックホールの周りにあり、これを通過できればブラックホールに入る事ができる。ブラックホールの基部から水晶が出ているねじれ棒。

・解説

『アイデア SF』かと思いきや。

カットバック、細部のリアリティ、意外性、科学記事の執筆に手馴れている。

フレデリック・ポール『ゲイトウェイ2』のあらすじメモ

著 takaidos

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
